

Ⅱ 各教科の正答率、問題の内容及び所見・解説

2 社会

(1) 正答率

問 題		配 点	正 答		一部正答		誤 答		無 答		通 過 率
			数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	数	率 (%)	率 = $\frac{\text{得点計}}{(\text{人数} \times \text{配点})} (\%)$
1	問 1	3	367	90.4	1	0.2	32	7.9	6	1.5	90.5
	問 2	3	222	54.7	0	0.0	184	45.3	0	0.0	54.7
	問 3	5	153	37.7	153	37.7	87	21.4	13	3.2	58.1
	問 4	3	308	75.9	10	2.5	87	21.4	1	0.2	77.4
2	問 1	3	275	67.7	7	1.7	93	22.9	31	7.6	68.9
	問 2	3	231	56.9	0	0.0	175	43.1	0	0.0	56.9
	問 3	3	254	62.6	0	0.0	152	37.4	0	0.0	62.6
	問 4	5	217	53.4	126	31.0	51	12.6	12	3.0	68.4
	問 5	2	356	87.7	0	0.0	48	11.8	2	0.5	87.7
3	問 1	3	276	68.0	0	0.0	128	31.5	2	0.5	68.0
	問 2	3	151	37.2	6	1.5	210	51.7	39	9.6	38.2
	問 3	2	173	42.6	0	0.0	230	56.7	3	0.7	42.6
	問 4	3	184	45.3	0	0.0	220	54.2	2	0.5	45.3
	問 5	5	165	40.6	181	44.6	28	6.9	32	7.9	66.7
4	問 1	3	260	64.0	0	0.0	145	35.7	1	0.2	64.0
	問 2	3	197	48.5	0	0.0	208	51.2	1	0.2	48.5
	問 3	5	175	43.1	159	39.2	22	5.4	50	12.3	65.5
	問 4	3	129	31.8	0	0.0	276	68.0	1	0.2	31.8
	問 5	3	331	81.5	0	0.0	58	14.3	17	4.2	81.5
5	問 1	3	371	91.4	0	0.0	35	8.6	0	0.0	91.4
	問 2	5	156	38.4	144	35.5	63	15.5	43	10.6	58.9
	問 3	3	179	44.1	16	3.9	209	51.5	2	0.5	45.9
	問 4	3	302	74.4	0	0.0	104	25.6	0	0.0	74.4
	問 5	3	259	63.8	1	0.2	125	30.8	21	5.2	64.0
	問 6	3	301	74.1	0	0.0	104	25.6	1	0.2	74.1
	問 7	3	268	66.0	0	0.0	96	23.6	42	10.3	66.0
6	問 1	3	156	38.4	1	0.2	245	60.3	4	1.0	38.6
	問 2	3	358	88.2	0	0.0	46	11.3	2	0.5	88.2
	問 3	3	301	74.1	0	0.0	79	19.5	26	6.4	74.1
	問 4	5	85	20.9	189	46.6	107	26.4	25	6.2	42.8

(小数第2位を四捨五入しているため、%の合計が100にならない場合がある。)

(2) 問題の内容

- 1 世界地図に示した国や地域について調べる学習の場面を想定した、地理的分野の問題である。
 - 問 1 六大陸のうち、ケニアがある大陸の名称を書く問題である。
 - 問 2 地図中のいずれかの地域の人々の生活の様子をまとめたカードと、地図中の地域の組み合わせとして最も適切なものを選ぶ問題である。
 - 問 3 ロンドン、青森、ニューヨークの気温と降水量を示したグラフを読み取り、青森、ニューヨークと比較したロンドンの冬の気温の特色と、その影響を及ぼす海流の名称を書く問題である。
 - 問 4 2020年の東京都中央卸売市場におけるかぼちゃの月別入荷量を示したグラフから読み取れる内容を述べた文として正しいものをすべて選ぶ問題である。

- 2 日本のある地域の自然環境や産業について調べる学習の場面を想定した、地理的分野の問題である。
- 問1 本州の中央部を縦断する断面図を読み取り、断面図の中の空欄にあてはまる山脈の名称を書く問題である。
- 問2 上越市、上田市、浜松市の1月と7月の平均気温と降水量を示した表を読み取り、表にあてはまる都市の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問3 中部地方各県の2019年における人口と農業産出額を示した表を読み取り、表にあてはまる県と農作物の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問4 日本の産業の特色について学ぶ授業における先生と生徒の会話文を読み、会話文の中の空欄にあてはまる、自動車組み立て工場と部品工場の位置や分布と、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を書く問題である。
- 問5 愛知県佐久島を上空から撮影した資料とその付近の地形図を見て、資料を撮影した方向として最も適切なものを選ぶ問題である。
- 3 近世までの日本の歴史に関する資料を調べる学習の場面を想定した、歴史的分野の問題である。
- 問1 飛鳥時代の文化について述べた文と、飛鳥時代の代表的な文化財の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問2 遣唐使の停止の提案に関する資料を読み、この書状を出した人物名を書く問題である。
- 問3 鎌倉時代において、元寇後のできごとについて述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 問4 安土桃山時代と同時期の世界のできごとを述べた文として、その正誤の組み合わせが正しいものを選ぶ問題である。
- 問5 江戸時代の大名の統制と佐賀藩の予算の内訳を示した資料を読み取り、資料の制度の名称と、参勤交代によって藩の財政が苦しくなった理由を書く問題である。
- 4 近現代の年表を基にした、歴史的分野の問題である。
- 問1 士族の反乱に関するまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる人物名と、その人物が反乱を起こした場所の地図中の位置の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問2 大日本帝国憲法が公布されてからベルサイユ条約が結ばれるまでの日本の政治や経済について述べた文として正しいものを選ぶ問題である。
- 問3 日本の財政支出に占める軍事費の割合の推移を示したグラフとワシントン会議で結ばれた条約に関する資料を読み取り、1923年から1931年までの軍事費の割合がどのようになっているかを、資料と関連付けて「国際協調」という語を用いて書く問題である。
- 問4 日本の民主化と冷戦による社会の変化を報じた4つの新聞記事の見出しを、年代の古い順に並べ替える問題である。
- 問5 1980年代後半からの日本の社会や経済についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- 5 テーマを設定して調べる学習の場面を想定した、公民的分野の問題である。
- 問1 共生社会の実現に関するまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問2 衆議院で内閣不信任の決議が可決された場合、内閣はどのようなことを選択しなければならないかを具体的に説明する問題である。
- 問3 裁判員制度について述べた文として正しいものをすべて選ぶ問題である。
- 問4 為替相場について学ぶ授業における先生と生徒の会話文を読み、1ドルが120円から100円になったときの外国通貨に対する円の価値と、アメリカ製スニーカーを輸入したときの支払額の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問5 労働者の権利を守る「ある法律」をまとめた内容を読み、その法律の名称を書く問題である。
- 問6 日本の社会保障制度の四つの柱を示した表を見て、表の中の空欄にあてはまる語の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問7 国際問題の解決に向けた取組に関するまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- 6 3年間の社会科学学習のまとめとして、持続可能な開発目標（SDGs）を基に日本の様々な課題などについて調べる学習の場面を想定した、地理的分野・歴史的分野・公民的分野の総合的な問題である。

- 問1 日本の教育に関するできごとについて述べた文を、年代の古い順に並べ替える問題である。
- 問2 化石燃料による発電と太陽光や風力を利用した発電の特徴をまとめた表から、発電における利点と課題の組み合わせを選ぶ問題である。
- 問3 都市化が進んだ地域の気候についてのまとめを読み、まとめの中の空欄にあてはまる語を書く問題である。
- 問4 大阪府の千里ニュータウンにおけるまちづくりの取組についてのレポートを読み、子育て世代や子どもへの取組の成果を示すグラフを選び、選んだグラフ等から読み取れることをレポートの中の空欄に書く問題である。

(3) 所見・解説

- ① 世界地図に示した国や地域について調べる学習の場面を想定し、世界の地域構成や地域的特色について理解しているかをみようとした。

- 問1 六大陸のうち、ケニアがある大陸は「アフリカ大陸」である。
- 問2 カードⅠは、石油で得た資金により豊かな生活を送る人々が増え、観光開発に力を入れている地域であることなどから、地図中のAの地域となる。カードⅡは、雨季と乾季がみられる地域であることなどから、Bの地域となる。これらにより、正答はアとなる。誤答にはイを選択したものが多く、カードⅡにある「湖」の記述と、地図中のDの地域が湖岸にあることを単に捉えたためと考えられる。
- 問3 ロンドン、青森、ニューヨークの気温と降水量のグラフと地図を読み取って比較すると、「ロンドンは、青森、ニューヨークより高緯度であるものの、冬の気温が高い（空欄X）」ことがわかる。これは、暖流の「北大西洋海流（空欄Y）」とその上空をふく偏西風が冬の寒さを和らげているためである。ここでは、ヨーロッパ州の気候の特色を、同じ温帯に属する日本の大部分と比較しながら理解しておきたい。
- 問4 グラフ2から読み取れる内容を述べた文として正しいものは、イ、エ、オとなる。2月から5月は、国産の入荷量が少なく、日本と季節が逆となる南半球のニュージーランド産の入荷量が多くなり、イは正しいと判断できる。10月の国産の入荷量は約3400tであるのに対し、12月の国産の入荷量は約1250tであり、10月の入荷量は、12月の約2.7倍となり、エは正しいと判断できる。国産の年間入荷量は12か月合わせると約16000tで、10000tを超えており、オは正しいと判断できる。

- ② 日本のある地域の自然環境や産業について調べる学習の場面を想定し、日本の諸地域や地域的特色、地域調査の手法について理解しているかをみようとした。

- 問1 資料1などから、日本アルプスと呼ばれている三つの山脈のうち、飛騨山脈と赤石山脈との間にある山脈を読み取り、空欄Lにあてはまる語は「木曾（山脈）」である。
- 問2 日本の気候区分において、上越市は日本海側の気候、上田市は中央高地の気候（内陸の気候）、浜松市は太平洋側の気候にそれぞれ属している。日本海側の気候の特色は、冬の降水量が多いことであり、1月に降水量の多いⅡが上越市となる。中央高地の気候（内陸の気候）の特色は、年間をとおして降水量が少なく、夏と冬の気温差が大きくなることであり、Ⅲが上田市となる。太平洋側の気候の特色は、冬に降水量が少なく、夏に降水量が多いことであり、Ⅰが浜松市となる。これらにより、正答はオとなる。誤答には、力を選択したものが多く、北に向かうほど気温が低いと単に捉えたためと考えられる。
- 問3 表2中のaは、長野県の額が高いことから「果実」と判断でき、bは、新潟県の額が高いことから「米」と判断できる。また、Xは、中部地方の中心都市である名古屋市があつて人口が多いことや、野菜の産出額が多いことから「愛知県」、Yは、bである「米」の産出額が高いことから「石川県」、Zは、aである「果実」の産出額が高いことから「山梨県」と判断できる。これらにより、正答はイとなる。
- 問4 自動車の生産の盛んな愛知県では、豊田市を中心に多くの自動車関連工場が集まっている。資料2の部品工場が組み立て工場に効率的に部品を納入する流れの理解を踏まえると、地図2から、「組み立て工場の近くに部品工場がある（空欄P）」ことが読み取れる。また地図2から、組み立て工場は、完成した自動車の運搬のしやすさから主に「高速道路（空欄Q）」沿いにあることが読み取れる。愛知県の産業の特色に関する知識のみならず、会話文から資料や主題図を基に、地域の広がりや地域内の結び付きを読み取るなどの学習が大切である。

問5 **資料3**を撮影した方向として最も適切なものは、**イ**である。各学校にもインターネットなどの整備が充実してきており、地図サイトから地理情報を入手しやすくなっている。特に地理的分野では、地形図も含めた地図の読図や作図、景観写真の読み取りなど、地理的技能を身に付けておきたい。

3 近世までの日本の歴史に関する資料を調べる学習の場面を想定し、世界の歴史を背景とした近世までの日本の歴史について理解しているかをみようとした。

問1 飛鳥時代の文化について述べた文は**b**であり、飛鳥時代の代表的な文化財は、**資料2**の「広隆寺の弥勒菩薩像」であるため、正答は**エ**となる。

問2 **II**の資料から、平安時代に遣唐使に任命された人物が、唐のおとろえなどを理由に派遣の停止を天皇に提案したことを読み取ることにより、この書状を出した人物は「菅原道真」となる。誤答には、「小野妹子」が多くみられた。歴史に関わる資料に平素から親しむとともに、東アジアの動きが我が国に与えた影響について理解しておきたい。

問3 鎌倉時代における元寇のあとのできごとを述べた文は**ア**である。**イ**と**ウ**は元寇の前のできごとであり、**エ**は平安時代後期のできごとである。

問4 **X**はフビライ・ハンに仕えたマルコ・ポーロについて述べた文であり、日本では鎌倉時代にあたる。**Y**は李舜臣の水軍が日本の水軍を破ったことについて述べた文であり、日本では安土桃山時代にあたる。**Z**はアメリカで南北戦争が起こったことについて述べた文であり、日本では江戸時代にあたる。よって、正答は**ウ**となる。日本の政治や文化に影響を与えた諸外国の歴史は、日本の各時代の特色と関連付けて理解しておきたい。

問5 **資料3**の下線部の制度は、「参勤交代」である。また、参勤交代によって藩の財政が苦しくなった理由は、大名が定期的に領地（国元）と江戸とを往復することになり、「往復の費用や江戸での滞在費用に多くの出費をしいられたから」である。

4 近現代の日本と世界の歴史について理解しているかをみようとした。

問1 **まとめ1**の文章から、士族らが起こした西南戦争などを読み取ることにより、空欄**P**にあてはまる人物名は「西郷隆盛」となる。また、西南戦争は鹿児島県の士族などが起こした反乱であり、**地図中**の鹿児島の位置は**c**である。よって、正答は**カ**となる。誤答の多くは、**イ**を選択したものであった。歴史的分野の学習においても、地図を活用しながら地理的分野との関わりを踏まえた学習が求められる。

問2 大日本帝国憲法の発布からベルサイユ条約が結ばれるまでの日本の政治や経済の様子について述べた文は**エ**である。八幡製鉄所は、日清戦争で得た賠償金を基に建設され、後の重化学工業発展の基礎となった。**ウ**は大日本帝国憲法の発布よりも前、**ア**と**イ**はベルサイユ条約よりも後である。

問3 第一次世界大戦後にアメリカの呼びかけでワシントン会議が開かれ、**資料**からは軍備を制限する条約が取り決められ、国際協調の時代となったことが分かる。そのため、**グラフ**から、ワシントン会議以降、軍部がしだいに台頭するまでの**X**の時期は、「国際協調の高まりの中、軍備が制限され、日本の財政支出に占める軍事費の割合が低くなっている」ことが読み取れる。

問4 正答は**ウ→ア→イ→エ**となる。各選択肢の記事の内容を読み取りと、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことの学習を基に正答を導くことができる。**ア**は、最初の東京オリンピックが開かれたことを報じる記事で、日本の高度経済成長の時期を象徴するできごとである。**イ**は、沖縄の日本復帰を報じる記事で、冷戦の緊張緩和の中、日本の発展と外交関係の広がりによって、沖縄の日本復帰に至ったことから、**イ**は**ア**よりも後のことである。**ウ**は、日本の国連加盟を報じる記事で、年表中のサンフランシスコ平和条約で西側陣営の一員として独立を回復した日本が、東側陣営とも外交関係を築いていく時期のできごとであり、**ア**よりも前のことである。**エ**は、PKO協力法成立を報じる記事で、日本が経済援助だけではなく国際貢献を求められたのは冷戦終結後であり、**イ**よりも後のことである。新聞など歴史に関連する資料から、情報を効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付けておきたい。

問5 **まとめ2**の文章から、内容を読みとることにより、空欄**Q**にあてはまる語は「バブル（経済）」となる。戦後の日本経済の動きについては、公民的分野との関わりを踏まえた学習が求められる。

5 テーマを設定して調べる学習の場面を想定し、日本の政治や経済、国際社会について理解しているかをみようとした。

- 問1 まとめ1の文章から、必要な情報を読み取ることにより、空欄Ⅰにあてはまる語は「バリアフリー化」、空欄Ⅱにあてはまる語は「ユニバーサルデザイン」となる。よって、正答はウとなる。
- 問2 衆議院で内閣不信任の決議が可決された場合、「内閣は10日以内に衆議院の解散を行うか、総辞職するかを選択しなければならない」こととなる。正答に至らなかったものには、内閣、衆議院という主語の記述が明確でなかったり、衆議院の解散について言及していなかったりするものがみられた。
- 問3 裁判員制度について述べた文として正しいものは、アとエである。一つの事件の裁判は、原則6人の裁判員と3人の裁判官が協力して行うため、イは誤りである。裁判員は、満18歳以上の国民の中から、くじと面接によって選ばれるため、ウは誤りである。裁判員は、裁判官とともに公判に出席し、そのうえで、裁判官と裁判員とで話し合い、被告人が有罪か無罪か、有罪の場合はどのような刑罰にするかを決定するため、オは誤りである。
- 問4 会話文から、1ドルが120円から100円になった為替相場において、円の価値が上がったことから、「円高（空欄P）」となる。また、1ドルが120円のときの一足80ドルのスニーカーの輸入したときの支払額は9600円だが、1ドルが100円になると、一足80ドルのスニーカーの輸入したときの支払額は「8000円（空欄Q）」となる。よって、正答はイとなる。
- 問5 労働者の権利を守る法律の主な内容を読み取ることにより、「ある法律」の名称は「労働基準法」となる。労働基準法は、労働時間や休日など、労働条件の最低限の基準を定めている重要な法律である。
- 問6 表2中の日本の社会保障制度の四つの柱のうち、それぞれ、Xは「社会保険」について、Yは「公衆衛生」について、Zは「公的扶助」についての内容である。これらにより、正答はウとなる。社会保障制度は、日常生活の様々な場面で国が国民の生活を守る制度として、理解しておきたい。
- 問7 まとめ2の文章から、必要な情報を読み取ることにより、空欄Rにあてはまる語は「難民」となる。国際連合の働きなど基本的な事項については理解しておきたい。

6 持続可能な開発目標（SDGs）を基に日本の様々な課題などに関連する事項について探究する学習の場面を想定し、地理的分野・歴史的分野・公民的分野の3分野を総合的に理解しているかをみようとした。

- 問1 正答はイ→エ→ア→ウとなる。誤答の多くは、教育勅語が出されたことと、学制が公布されたことの順を理解していないものであった。アは、教育勅語についての内容から明治時代における立憲制国家の成立の時期である。エは、欧米の学校制度を取り入れた学制が公布された明治維新の改革の一つであり、アよりも前のことである。なお、イは、蘭学が発達し、緒方洪庵の適塾が開かれたのは江戸時代のことであり、ウは、教育基本法についての内容から戦後の改革の一つであり、昭和時代のことである。
- 問2 太陽光や風力を利用した発電は、発電時に二酸化炭素を排出しないという利点があるが、電力の供給が自然条件の影響を受けやすいという課題がある。また、化石燃料は、埋蔵する地域の分布にかたよりがあるなどの課題がある。これらにより、正答はオとなる。
- 問3 まとめの文章から、大都市の中心部では、周辺部と比べて気温が高くなる、屋上を緑化する取組などを読み取ることにより、空欄Pにあてはまる語は「ヒートアイランド（現象）」となる。
- 問4 レポートの内容と資料2から、グラフ2には子育て世代や子どもへの取組の成果を示すウがあてはまる。また、資料2と選んだウのグラフから、取組の内容とその成果として、「交流の場をつくったり、イベントを催したりすることが、0～14歳の人口を増やしている（空欄A）」ことが読み取れる。中学校社会科のまとめとして、生徒自らが課題を設定、探究し、その解決に向けて、多面的・多角的に考察、構想した自分の考えの過程や結果を説明、論述する学習が求められる。